

名古屋市農業振興基本方針 なごやアグリライフプラン（平成30年3月改定）の概要

都市農業を取り巻く環境の変化

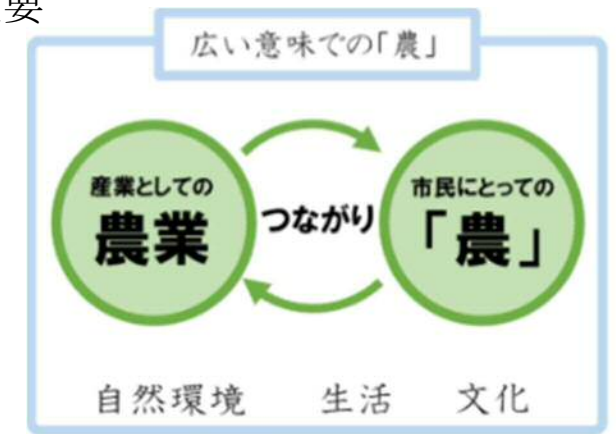
担い手の育成・確保の必要性、都市農業への市民の期待、都市農地の位置付け転換

目指す姿

「農」のある暮らし、街とともにある農業

本市の農業は、人口密集地域やその周辺で行われています。農業が産業としてより良く行われるためには市民による理解が不可欠です。また、市民が農業や「農」に触れる機会が少ない都市での暮らしに「農」を取り入れることは、市民生活をより豊かなものにします。

本市は、都市において農業と市民がお互いにより良い関係を築くことができる社会を目指して、農業振興を行っていきます。



第1の柱 活力ある農業

次世代にわたり安心して営農ができるように、産業としての農業を振興します。

人の施策

それぞれの農業者の目的や段階に応じた支援を行います。

- 農業者のニーズに合った、きめ細かな営農支援を行います。
- 新規就農を希望する人の、農地の権利取得や技術習得を支援します。
- 人・農地プランの策定・改定に向けた地域の話し合いを支援します。



みつば



水稻



ブロッコリー

■なごやのブランド農産物

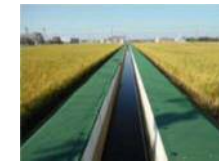


おかえりやさい なごやチョコ miu トマト 陽娘

農地の施策

農業生産の基盤となる優良農地等を守ります。

- 農用区域や生産緑地地区等において、貴重な都市農地の保全に努めます。
- 農業用水路、排水機場、農道等の生産基盤の確保に努めます。
- 十分に活用されていない農地の利用を促進します。



地域の排水も担っている農業用排水路や排水機場



地域による維持管理作業



農地バンク募集のチラシ

第2の柱 「農」のある暮らし

「農」とのふれあいにより、豊かな市民生活を実現します。

耕す市民の施策

「農」に関わる体験等を通して、ゆとりと潤いのある暮らしを楽しむ「耕す市民」を応援します。

- 様々な関心を持つ市民が気軽に「農」を楽しめる環境をととのえます。
- 貸し農園や農業体験農園の開設と利用を促進します。
- 趣味や生きがいとしての「農」からさらに一歩進んで農業にチャレンジをする人を応援します。



市民水田



田んぼアート



農業体験農園

農福連携による
ワイン



食と農の施策

「農」を通じて、市民の食生活をより良いものとします。

- 食農教育を通して、農業の大切さを伝えます。
- 農産物の安全性を確保し、市民の健やかな食生活に貢献します。

■食農教育



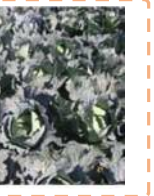
名古屋産食材給食



地産地消給食講師による出前授業

■なごやの伝統野菜

左から順に
野崎2号白菜
八事五寸にんじん
大高菜
愛知大晩生キャベツ



第3の柱 農業と市民をつなぐ

市民が農業を元気にし、農業が市民生活を豊かにするような、農業と市民のより良い関係をはぐくみます。

つながりの施策

農業と市民のつながりをはぐくみます。

- 朝市・青空市の活動支援や情報発信により、地産地消を促進します。
- 農業ボランティアを育成しその活動を支援します。

■特色ある朝市・青空市



都心部



地域密着

■地産地消スタンプラリー



農業ボランティアの研修風景

都市環境の施策

農業の多面的機能の発揮を促進するとともに、市民にその大切さを伝えます。

- 農地の防災機能を十分に発揮させ、市民生活の安心・安全を守ります。
- 都市農地を活用し、良好な都市環境の形成を推進します。



防災協力農地

■市民交流

レンゲ畑でのハチミツ搾り体験花輪作りイベント



生産緑地

